

設、18施設は和式トイレである。ニーズを踏まえ多目的トイレとして洋式化を検討していく。

**Q** 旧市街地の溝ぶたの着脱は高齢者の大きな負担になっている。支援をするべきである。包括的維持管理業務での対応は。

**A** 側溝の溝ぶたの「ふた上げ機」の貸し出しを行っている。清掃は各自治会の判断。包括的維持管理業務では考えていない。

**Q** 公営住宅の高層階から低層階に移りたいと希望する高齢者の相談にどう対応しているのか。

**A** 低層階への移転希望者について、加齢・病気等で日常生活に制限を受ける方は、公募や抽選会を経ずに住み替えを行っている。民間賃貸住宅も活用することを検討している。



竹山嘉一 議員の質問

**Q** 新潟県は借入金の上り償還により約34億円の支払金利額の削減を行うとのこと。三条市も同様のことを検討しないのか。

**A** 借入金の償還期間や据え置き期間は、基本的には国の財政融資資金の基準年数に従って借り入れを行っている。

### 冬期の燕三条駅駐車場不足

**Q** 積雪により民間コインパーキング等の青空駐車場が使えず、駐車場所がなく新幹線に乗り遅れたとの苦情が駅に対してあるとのことだ。三条燕一Cからの高速バス利用者の駐車場不足も指摘されていることも踏まえ、駅と一Cの間にある須頃郷第1号公園を立体駐車場として整備するべきではないか。



燕三条駅と三条燕一Cに挟まれた公園不足する駐車場としての活用を



岡本康佑 議員の質問

### ナイター施設が有効活用されていない状況について

**Q** 嵐南学園第一グラウンドのナイター施設が有効活用されていない。他のグラウンドは一般開放されているが、利用単価を決めたにもかかわらず、夜間に一般開放されていない理由は何ですか。

**A** 開校当初、一般開放は想定したが、芝の定着が困難となり、学校活動等の安全性が懸念されたことから認められなかった。

**Q** 部活動地域移行が必要となるから移動等は考えていないということだが、それまで数年間は公共財を有効活用しないのか。

**A** 完全に拒むものではないが、懸念事項を第一に考えていくべきと捉えて現状を維持したい。

### 災害対応について

**Q** 災害時の要援護者名簿に記載されていない方で登録したいと考える方はどうすればよいか。

**A** 心配や不安を抱えている家族から

**A** JR東日本によると、駅前駐車場は土日ほぼ満車とのこと。市としては八十里越開通により多少の駅利用者の増加はあると考える。公園は、パークPFIによる立体駐車場整備は法的には可能。事業者募集の際にその旨周知を行う。

### 大規模公園の防犯カメラ設置

**Q** 条南あおば公園トイレの壁面がたびたび壊される件をはじめ、大規模公園ではこの5年間で35件もの設備破壊案件が発生しているとのこと。公園設備は市民の財産。防犯カメラの設置が必要ではないか。



深く押しつぶされている条南あおば公園の多目的トイレの壁面

地域の民生委員、自治会長、またサービスマスターや市の保健師等に相談していただきたい。

**Q** 各課の縦割り感や部ごとの連携や連絡調整が乏しいために取り残されたと感じる市民の皆さんがいると考える。行政としてこれを防ぐにはどうしたらよいか。

**A** 縦割り感の解消は、我々も努めている。気付いたことがあれば遠慮なく市民の皆さまも議員も市に指摘していただきたい。積極的にそのような解消に努める。



燕幸男 議員の質問

### 不登校支援について

**Q** メタバースを活用した不登校の支援には、どのような可能性や効果があるのか。市として導入を検討してはどうか。

**A** 自宅にいながら学習やコミュニケーション活動に参加できることから、新たな学習の場、社会性を育む場となる可能性がある。一方で、仮想空間での活動に満足し、登校や外出が減り、学校や社会とのつながり、人と関わる意欲そのものが失われる懸念がある。

**A** 子どもたちを守るという観点から必要である時に設置を検討したい。



武藤元美 議員の質問

### 避難所の整備について

**Q** 障がい者、高齢者、妊産婦、乳幼児、ペットなど誰もが安心して避難できる避難所の整備はどうなっているか。

**A** 配慮を要する方は、教室等専用スペースを確保。ペットは、共に生活を送れるよう市内10カ所の避難所に専用スペースを確保。避難が長期化した場合、温かい食事提供のため、学校給食共同調理場を活用し、市による炊き出し体制を整備済み。

**Q** 地域によっては普段の付き合いも希薄な所があり、災害時の声掛けを戸惑うのではないかと。そこで、防災の知識と行動ができる防災士が地域にいると心強い。地域リーダーの核にもなる防災士の育成をどうするか。

**A** 限りある財源は特定の個人の支援ではなく、地域への支援を優先したい。

メタバースの活用については、先例事例の取り組みや費用対効果も含めて研究していきたい。

### トリムの森の維持管理について

**Q** 散策路に設置されている標柱の案内板が取り外されているが、なぜ撤去されたのか。再設置する予定はあるのか。



案内板が設置されている標柱



案内板が撤去され、標柱のみ

### 生活保護制度の運用について

**Q** 生活保護は、全ての国民の命と生活を守る最後の砦だ。保護申請の際、経済的援助が可能か親族に調査する扶養照会の存在により申請者の苦境を知られるため、生活保護を諦める人が増加した。このため国の考えが改正され、扶養義務の履行が期待できないと判断される場合、扶養照会を行わないことになった。市の対応はどうか。

**A** 対応を変更している。制度周知のため、生活保護のしおりやHPの掲載内容の見直しを図りたい。

防災士の講演